

## ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地 (地図)
1	あしぎぬ 縄の碑	未指定	奈良の正倉院に天平 11 年 (739 年) に「丹後国竹野郡鳥取郷」と記された絹織物「縄」が保存されていることから、当地に顕彰碑が建立され、先人に感謝し、丹後ちりめんの発展を祈願する顕彰祭が行われる。	京丹後市 ( <a href="#">地図</a> )
2	たんご ぼうしよく 丹後の紡織用具及び製品	国指定重要有形民俗文化財	丹後地域は、ちりめん以外にも藤織り、裂き織り、麻布織り、木綿織りなど、近年まで多様な織物が生産され、当時の用具類と製品が保存されており、藤織りは全国で唯一技術が残る。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
3	たんご 丹後ちりめん	未指定	緯糸に強い撚りをかけた生糸を使い、生地に細かい凸凹状の「シボ」がある織物。しなやかな風合いで、発色性に富むのが特徴。江戸時代に峰山の絹屋佐平治と、加悦谷の手米屋小右衛門、山本屋佐兵衛、木綿屋六右衛門が京都西陣から技術を習得し発祥した。	京丹後市、 宮津市、 与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )
4	はっちょうねんしき 八丁撚糸機	未指定	丹後ちりめんの特徴の「シボ」と呼ばれる細かい凸凹を生み出すため、水を注ぎながら糸に撚りを掛ける機具	京丹後市 与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )
5	ぜんじょうじ 禪定寺	未指定	丹後ちりめんの創業者の一人、絹屋佐平治が京都の西陣の技術習得を祈願し、佐平治が最初に織ったちりめんとされる「縮み布」が奉納されている。	京丹後市 ( <a href="#">地図</a> )
6	じょうりゅうじ 常立寺	未指定	丹後ちりめんの創業者の一人、絹屋佐平治 (後に森田治郎兵衛と改名) の墓碑があり、現在も同氏の功績をたたえる慰霊祭が行われる。	京丹後市 ( <a href="#">地図</a> )
7	ことひらじんじや 金刀比羅神社	未指定	丹後ちりめんの繁栄が財政を支えた峰山藩の藩主の京極家が創建し、ちりめんの繁栄を背景に、広大な神域や多くの社殿群を有し、華やかな屋台行事が行われる。境内の糸商人や養蚕家が建立した木島神社には、養蚕の大敵であるネズミを退治する狛猫がある。	京丹後市 ( <a href="#">地図</a> )

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地 (地図)
8	丹後織物工業組合中央加工場	未指定	丹後ちりめんは、かつては精練（湯で煮て絹糸の表面のタンパク質（セリシン）を取り除く工程）されず京都の間屋へ出荷されたが、昭和初期に、地元で精練と検査を行う国練検査制度を開始。現在も本工場で精練・検品を経て、丹後ちりめんとして出荷される。	京丹後市 ( <a href="#">地図</a> )
9	足米機業場	未指定	網野（京丹後市）にある織物工場で、昭和初期のノコギリ型の三角屋根のある織物工場特有の建物が残る。	京丹後市 ( <a href="#">地図</a> )
10	網野・弥栄の機屋の町並み	未指定	丹後ちりめんの工場の多くは、住宅に小規模な機屋を併設して行う家内工業的な形態であり、網野町浅茂川や弥栄町和田野地区には、こうした機屋が点在している。	京丹後市 ( <a href="#">地図1</a> ) ( <a href="#">地図2</a> )
11	丹後ちりめん小唄	未指定	昭和10年(1935年)に、丹後ちりめんの宣伝のため、新たに作られた唄でお座敷唄としても唄われた。	京丹後市 ( <a href="#">地図</a> )
12	京丹後ちりめん祭	未指定	約70年に渡り続く、丹後ちりめんによるファッションショーなどの着物の魅力を発信・体感する祭典	京丹後市 ( <a href="#">地図</a> )
13	旧三上家住宅	国指定重要文化財 府指定名勝	江戸時代に酒造業・廻船業・糸問屋等を営んだ三上家は、宮津城下有数の商家で、外観は美しい白壁、贅を尽くした座敷や庭園等が特徴で、城下町宮津の面影を残している。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
14	今林家住宅	国登録有形文化財	江戸から明治の糸問屋、ちりめん問屋であった町家で、白壁に格子戸という商家の趣を今も残しており、宮津の城下町を代表する町家建築のひとつ。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
15	清輝楼	国登録有形文化財	江戸時代に創業し、丹後ちりめん栄えた宮津城下町を訪れた多くの文人墨客に愛された旅館で、江戸時代の京都の様々な絵師達や、明治以降の菊池寛、吉川英治など多くの作家・詩人達が訪れた。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
16	茶六本館	国登録有形文化財	江戸時代に創業した旅館で、丹後ちりめん栄えた宮津のまちを象徴する建物で、ちりめん商人をはじめとする多くの来訪者が宿泊した。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地 (地図)
17	新浜の町家	未指定	宮津藩の城下町であった宮津の新浜地区には花街が生まれ、多くの芸妓衆がおり、宮津節が唄われていたと言われ、千本格子の町屋が残り、花街の風情を伝えている。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
18	民謡 宮津節	未指定	江戸時代に商業・港湾都市として栄えた、宮津の花街で唄われたのが発祥とされ、丹後ちりめん等の各地の織物や、訪れたちりめん商人など多くの人々が巡った、天橋立や智恩寺などの象徴的な風景が歌い継がれている。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
19	宮津おどり	未指定	民謡「宮津節」と「宮津盆おどり松坂」、「あいやえおどり」の三つが組み合わせられた踊りで、8月15日には市民総おどり大会を開催。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
20	天橋立	国指定特別名勝 国選定重要文化的景観	宮津節で唄われた、丹後地域を象徴する景観地で、丹後ちりめんの産地のシンボルとしても使用され、平安時代以降に貴族や文人墨客が来訪する景勝地となり、江戸時代には庶民の観光地となった。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
21	智恩寺	国指定特別名勝 国選定重要文化的景観	宮津節で唄われた、文殊菩薩を本尊とする日本三文殊の一つで、智慧を授かる文殊さんとして、学業成就を願う人々が全国各地から参詣に訪れる。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
22	智慧の餅	未指定	宮津節で唄われた、江戸時代から伝わる名物餅で、智恩寺本尊の文殊菩薩の智慧に由来し、現在も智恩寺門前の四軒茶屋で参拝客をもてなしている。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
23	成相寺	国指定史跡 国選定重要文化的景観	宮津節で唄われた、西国三十三所巡礼の観音霊場で、平安時代後期の「梁塵秘抄」、「今昔物語」にも登場する古くからの巡礼地	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
24	籠神社	府指定有形文化財(建造物) 国選定重要文化的景観	宮津節で唄われた、傘松下にあり、天照大神、豊受大神がこの地から伊勢に移された故事から元伊勢と呼ばれ、毎年4月には「葵祭」を開催	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
25	籠神社奥宮 真名井神社	府指定有形文化財(建造物) 国選定重要文化的景観	宮津節で唄われた、傘松下にあり、籠神社の奥宮と伝えられている。 天照大神、豊受大神をはじめとする神々が祀られる「磐座」がある。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地 (地図)
26	かさまつこうえん 傘松公園	国指定特別名勝地内 国選定重要文化的景観地内	みやづぶしで唄われた、かさまつしたにあり、天橋立の代表的な眺望地で、あまのほしだて天橋立を逆さに見る「またのぞき」の場で有名。	宮津市 ( <a href="#">地図</a> )
27	おおうちとうげいちじかんこうえん 大内峠一字観公園	未指定	みやづぶしで唄われた、「いちじかん」と呼ばれる天橋立の代表的な眺望地で、あまのほしだてとよさのてつかんあきこ 与謝野鉄幹・晶子が和歌に詠んでいる。	与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )
28	ちりめんの道の機屋の町並み	未指定	たんご丹後ちりめんの工場の多くは、住宅に小規模な機屋を併設して行う家内工業的な形態であり、「ちりめんの道」と呼ばれるよさのちやうのだがわ 与謝野町の野田川西岸には、こうした機屋が連なっている。	与謝野町 ( <a href="#">地図1</a> ) ( <a href="#">地図2</a> ) ( <a href="#">地図3</a> ) ( <a href="#">地図4</a> )
29	ちりめん街道 (与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区)	国選定重要伝統的建造物群保存地区	たんご丹後と京都を結ぶたんごちりめんの物流の拠点として栄えた街並みが残り、明治の織物工場や、ちりめんの流通が育んだ木造・土壁の町家などの明治・大正・昭和の建造物が建ち並ぶ。	与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )
30	きゆうびとうけ 旧尾藤家住宅	府指定文化財 (重伝建特定物件)	ちりめん街道内にある、生糸・ちりめん問屋であった町家で、尾藤家は加悦の大庄屋を代々務め、たんごちりめんの発展に貢献し、明治時代以降には銀行業や町政にも活躍した。	与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )
31	にしやまきぎょうじょう 西山機業場の建物群	未指定 (重伝建特定物件)	ちりめん街道内にある、たんご丹後地域に唯一現存する明治から大正時代の大規模な織物関連の建物群で、現在も織物工場として使用されている。	与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )
32	みほんちやう 織物見本帖「橋立」	未指定	にしやまきぎょうじょうせいしよく 西山機業場で製織された、明治から大正時代の稀少な織物見本帖で、当時のたんごちりめんの生地国内向け・海外向け等も示されている。	与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )
33	しもむらよしちろう 下村与七郎家住宅	未指定 (重伝建特定物件)	ちりめん街道内にある、江戸から明治時代の建物で機屋窓と呼ばれる格子付き窓があり、明治時代は郵便局があり、変動が激しい生糸相場の把握に電信事業が活用された。	与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )
34	しもむらごろうすけ 下村五郎助家住宅	未指定 (重伝建特定物件)	ちりめん街道内にある、江戸時代からの商家で、ちりめん業を営んだ。屋号は「角屋」と称する。	与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )
35	すぎもとじすけ 杉本治助家住宅	未指定 (重伝建特定物件)	ちりめん街道内にある、江戸時代から続く家で、生糸やちりめんの取引を家業としていた。	与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地 (地図)
36	旧加悦町役場庁舎	府指定建造物	ちりめん街道内にある、昭和初期の洋風建築で、織物業の篤志家が建設費の半分ほどを寄付し建設された。	与謝野町 (地図)
37	旧加悦鉄道加悦駅舎	町指定文化財	丹後ちりめんの輸送を目的に、住民出資で、大正時代に開業した加悦鉄道の駅舎で、昭和60年(1985年)の廃線後は、鉄道資料館として活用。	与謝野町 (地図)
38	旧加悦鉄道2号機関車 (123号機関車)	国指定重要文化財	国の鉄道院・鉄道省に在籍し、加悦鉄道に譲渡された蒸気機関車で、加悦SL広場で保存・展示されている。	与謝野町 (地図)
39	丹後ちりめん歴史館	未指定	昭和初期の工場跡地を活用した施設で、織物工場特有のノコギリ型の三角屋根が印象的な建物が残り、丹後ちりめんの工程見学や手機体験が可能。	与謝野町 (地図)
40	織物始祖祭 金色蚕糸神祭	未指定	毎年秋に、丹後ちりめんの創業者に感謝する織物始祖祭と、養蚕・生糸・織物の守護神の金色蚕糸神に祈願する金色蚕糸神祭が行われる。	与謝野町 (地図1) (地図2)
41	実相寺	未指定 (重伝建特定物件)	ちりめん街道内にあり、養蚕・生糸・織物の守護神の金色蚕糸神を祀る金色堂では、毎年秋に金色蚕糸神祭を開催。	与謝野町 (地図)
42	三河内曳山行事	府登録無形民俗文化財	織物の神「天羽槌雄命」を祭神とする倭文神社の祭礼行事で、毎年5月に丹後ちりめんによる繁栄を象徴した、華やかな12台の屋台が巡行する。	与謝野町 (地図)
43	倭文神社	府登録建造物	織物の守護神とされる「天羽槌雄命」を祭神とし、丹後ちりめんの繁栄を伝える三河内曳山行事が開催される。	与謝野町 (地図)
44	後野の屋台行事	府登録無形民俗文化財	丹後ちりめんによる繁栄を伝える与謝野町後野地区の愛宕神社を氏神とする祭礼で、江戸時代から伝わる華麗な芸屋台や太鼓台などが巡行する。	与謝野町 (地図)
45	加悦・算所の屋台行事	未指定	ちりめんによる繁栄を伝える、天満神社を氏神とする加悦・算所区の神輿渡御と屋台巡行の祭礼行事	与謝野町 (地図)
46	宝巖寺	未指定 (重伝建特定物件)	ちりめん街道内にあり、丹後ちりめん創業者の一人、木綿屋六右衛門の菩提寺で、本尊の阿弥陀如来は、ちりめんの商家の尾藤家が寄進した。	与謝野町 (地図)

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地 (地図)
47	吉祥寺 きちじょうじ	未指定 (重伝建特定 物件)	ちりめん街道内にあり、丹後ちりめんの創業者の一人の手米屋小右衛門の菩提寺で、境内には墓碑が残る。	与謝野町 ( <a href="#">地図</a> )
48	丹後大仏 たんごだいぶつ	未指定	筒川村(伊根町筒川地区)で明治時代に、筒川製糸工場が建設され、丹後ちりめんなどの材料を供給した。火事で全焼し、再建後の大正8年(1919年)の同工場の従業員の東京への慰安旅行で、多くの従業員がスペイン風邪で亡くなり、慰霊のため建立された。	伊根町 ( <a href="#">地図</a> )